

仙台市の楽天球場
「桑折町一色」に染まる

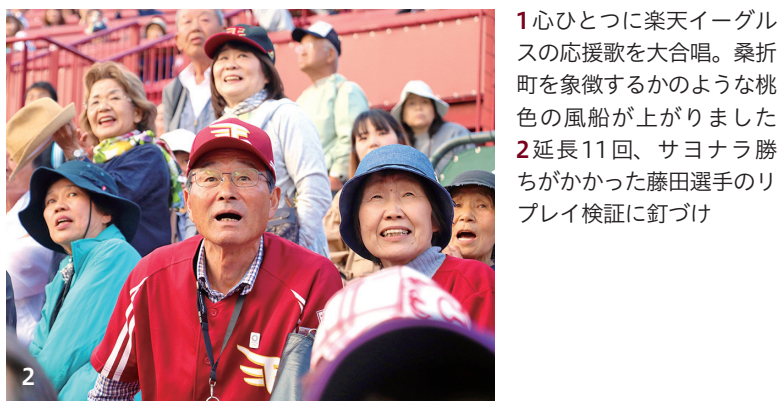
桑折町冠協賛のプロ野球1軍公式戦・東北楽天ゴールデンイーグルス対北海道日本ハムファイターズ戦が5月15日、仙台市の楽天生命パーク宮城で盛大に開かれました。

本町の冠協賛試合は、昨年に続き2度目。会場では、各所に「桑折町」と記されたのぼり旗が立てられ、スタジア

東北魂で激闘を制す

想い届いた、逆転劇

東北楽天ゴールデンイーグルス
献上桃の郷 桑折町協賛デー



ム的大型スクリーンには、所要所で町のロゴマークや自慢の桃、醸芳幼稚園の園児らが登場するPR映像が流れるなど、約2万6、724人の



3会場の至るところに桑折町ののぼり旗が立ち並びました
4PRブースでは、農業関係者と来場者が交流

1心ひとつに楽天イーグルスの応援歌を大合唱。桑折町を象徴するかのような桃色の風船が上がりました
2延長11回、サヨナラ勝ちがかかった藤田選手のリプレイ検証に釘づけ

「献上桃の郷」桑折町デーと題して、町の魅力を大々的にアピール。PRブースでは、午後1時試合開始のデーゲームにもかかわらず、朝から来場者が殺到。町自慢の特産品などが当たる抽選所には、アスパラガスやイチゴ、桃を求め、長蛇の列ができました。町の農業関係者らが自ら景品を渡して、おいしい食べ方を紹介。来場者からは「これをきっかけに旅行に行きたい」などと町の知名度とイメージ向上につながりました。

場を沸かせました。

粘り強い東北魂が生んだ奇跡の大逆転劇

町の観戦チケットに当選した町民、宮城県民ら200人が見守る中、プレーボール。試合開始から日本ハムの打線が爆発。4回までに8対0と大量リード。「諦めるな」と声援が上がる中、ブラッシュ選手が満塁弾で反撃。その後じわりじわりと点差を詰め、9回裏で同点に。最後は夕日も暮れかけた延長11回、儀飛で本塁へ突っ込んだ藤田選手が捕手のタッチをかわいくぐり、大逆転勝利をたぐり寄せました。

まさに東北魂が見せた粘り勝ちに、観客席は拍手の嵐。4時間40分の激闘ドラマに「こんな良い試合を生で見られて、もう一生忘れられない」「選手に熱い勇気をもらった」と記憶に残る特別な試合となりました。



5高橋町長がオコエ選手に桃目録を贈呈 6スマイルピーチが華麗な投球 7ボールパークツアーで、憧れの嶋選手の練習を目の前で拝見

大勢の観客でスタジアムが埋め尽くされた試合開始前、注目が集まるマウンドでは、高橋宣博町長と片平秀雄町議会議長より、両チームの代表選手へ桃「あかつき」の目録

INTERVIEW

桑折町協賛デーに参加してー

桑折町協賛デーに参加した皆さんに印象深いことを聞きました



会社の仲間との最高の思い出
川村 洋一さん
2度目の観戦

会社の仲間と、社員旅行として参加しました。バックネット裏で大迫力のボールの音を聞いたボールパークツアー、最後の最後まで見逃せなかった試合展開、どれも思い出深く最高な1日でした。



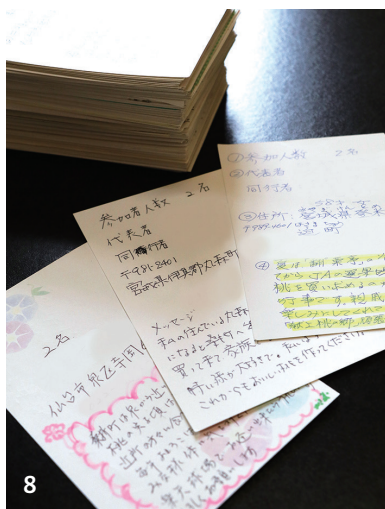
憧れの選手を間近で見れた
渡邊 蓮斗くん
小学4年生

1年生のころからソフトボールをやっています。ボールパークツアーでは、選手が練習している様子を目の前で見るのができ、観覧車に乗ることもできて、とても貴重な経験となりました。



東北同士、共に頑張ろう
山越 豊恵さん
宮城県から参加

福島県の桃が大好きで、季節になると買いに行っています。友達にお土産で渡すと「とてもおいしい」と大好評です。震災以来大変なこともあります。桑折町も宮城県も、東北同士頑張りましょう！



8仙台圏の皆さんから届いた500通を超える応募はがき。「桑折の桃はとても美味しいです」「今年も買いに行きます」などと桑折町への心あたたかい応援メッセージが、びっしりと詰まっています